

SMAJの青少年保護の取組みについて

一般社団法人ソーシャルメディア利用環境整備機構（SMAJ）



Social Media Association of Japan

青少年のSNS利用について

SNS等のコミュニケーションサービス利用が低年齢化する中、SMAJでは、年齢等の利用者属性に応じた利用環境整備の推進等、青少年の安心・安全なインターネット利用に向けた取組みを進めています。

■ 昨今の青少年のSNS利用の変化

- 利用時間の増加
- ライブ配信などの新しいコミュニケーションの利用
- 画像・動画・音声などの加工の進化 等

■ SMAJおよび事業者の取組み

- SNS等のコミュニケーションサービス利用におけるリスクとその対策（ノウハウ）の共有を通じて、青少年保護施策を検討・実施
- 年齢等の利用者属性に応じた利用環境整備の推進
- 安心・安全な利用のための啓発
- 保護者等への安心・安全なサービス利用に関する情報の提供

一般社団法人 ソーシャルメディア利用環境整備機構（略称：SMAJ）

2020年4月、SNS等における様々なソーシャルメディア上の課題への対応を加速し、取組みを強化するため、関連事業者により設立された団体。SNS起因の児童被害防止のために設立された青少年ネット利用環境整備協議会を前身とする。

リスクと対策（ノウハウ）の共有

青少年保護施策の実効性向上のため、これまで各事業者が実施してきたソーシャルメディアにおける課題に対する取り組みを体系化した「ユーザー保護ナレッジデータベース」構築等を通じて、実効性のある利用者保護施策の検討を継続的に実施しています。

※ユーザー保護ナレッジデータベース：サービス毎のリスクと対策を体系化してSMAJ内で共有することにより、業界全体のユーザー保護施策の実効性向上を目的としています。

【各事業者の取り組みの例（「自画撮り」をはじめとした性的なコンテンツの投稿等に関する取り組み）】

■ グリー株式会社（サービス：GREE）：

- ・ 性的な内容・コンテンツについては、利用規約において禁止し、違反投稿については削除を実施。

（パトロール詳細） <https://corp.gree.net/jp/ja/csr/internet-society/patrol/>

（利用規約） https://id.gree.net/?action=misc_tos_generic&page=terms

■ 株式会社モイ：

- ・ 性的なコンテンツについては利用規約において禁止しており、違反の検知には機械学習を用いた画像の検出や、ユーザーからの報告に基づいて対処を実施。

■ 株式会社ナナムウエ（サービス：Yay!）：

- ・ 「自画撮り」（児童ポルノ画像）については、チャット送信ができないよう厳格な管理をしている。具体的には、画像送信前に、画像を運営会社がチェックすることについて同意を得たうえで、AI及び人的チェックにより、猥褻画像、児童ポルノ画像等をチェックし、該当する場合は強制的に削除する。なお、開封した画像のスクリーンショットを撮影すると相手に通知される機能もある。
- ・ 大人が中高生にアプローチできないようにするため、13歳であれば12～15歳、18歳であれば15歳～、21歳以上は18歳～というように、年齢区分によって未成年がチャットのできる相手を原則3歳以内の相手としている。

年齢等の利用者属性に応じた利用環境整備

年齢等の利用者属性に応じた利用環境整備を推進しています。
また、年齢確認の実効性向上について検討しています。

【各事業者の取り組みの例（年齢等の利用者属性に応じた利用環境整備①）】

■ 株式会社ナナムエ（サービス：Yay!）：

- 大人が中高生にアプローチできないようにするため、13歳であれば12～15歳、18歳であれば15歳～、21歳以上は18歳～というように、年齢区分によって未成年がチャットのできる相手を原則3歳以内の相手としている。
- また年齢は自己申告制ではなく、免許証や健康保険証などの書類をアップロードする形で認証を行う必要がある。

■ ByteDance株式会社（サービス：TikTok）

- サービス規約により13歳未満の利用を禁止し、年齢認証を実施。（アカウント作成時に誕生日を入力する画面が開き、入力しないとアカウント開設できない）
- 16歳未満の青少年保護のための制限強化（ダイレクトメッセージの機能の無効化等）
- ペアレンタルコントロール機能の導入。保護者は、自身のアカウントと子どものTikTokアカウントを連携することで、子どものアカウントの公開範囲などを設定することができる。（使用時間制限／見られる動画の制限等）

■ LINE株式会社（サービス：LINE）：

- 青少年の出会いによるトラブルを未然に防ぐため、携帯電話会社が提供する年齢認証機能を利用して、18歳以上であるかを確認。確認できない場合にはLINE ID検索などの一部機能を制限。

安心・安全な利用のための啓発

青少年による情報発信等に係るトラブル防止のため、啓発活動を実施しています。

【各事業者の取り組みの例（安心・安全な利用のための啓発①）】

■ ByteDance株式会社：

- オリジナル啓発動画の作成とアプリ内での周知徹底 (https://www.tiktok.com/@tiktoksafety_jp?)
- 安心・安全な利用に関する啓発ページの作成（サイバーセキュリティ月間特設ページ：https://activity.tiktok.com/magic/page/ejs/602f8b8a7685cc02d870bf28?appType=aweme&iid=6903760740467214082&u_code=D7D6L18KD2BE10 / 若年層の性暴力被害予防月間特設ページ：<https://activity.tiktok.com/magic/eco/runtime/release/60790b5bd27075030b8c3490?appType=tiktok>)
- 安心・安全な利用に関する啓発イベントの開催（#サイバーセキュリティ月間座談会：<https://note.com/tiktok/n/nca132d849310> / デジタル性暴力防止オンラインフォーラム：<https://newsroom.tiktok.com/ja-jp/tiktok-holds-preventing-digital-sexual-violence-online-forum>)
- 学校での出張授業や、親子向けの安心・安全啓発セミナーの実施（親子セミナー：<https://newsroom.tiktok.com/ja-jp/safetyeventforfamily> / 家族三世代セミナー：<https://newsroom.tiktok.com/ja-jp/afetyblog-8>)
- 啓発冊子「TikTokを安全に使うために」(https://sf-tk-sg.ibytedtos.com/obj/tiktok-web-sg/181127_tiktok_safety.pdf)

■ Facebook Japan株式会社

- 出張授業：みんなのデジタル教室 (<https://wethinkdigital.fb.com/jp/ja-jp/> / <https://ace-npo.org/wp/archives/project/facebook>)
- #インスタZENカイギ (<https://about.fb.com/ja/news/2020/03/instaanzenkaigi/>)
- 安全な使い方を楽しく学ぼう！みんなのInstagramガイド (<https://about.fb.com/ja/news/2019/12/teensafetyguide/>)
- 保護者のためのInstagramガイド (<https://about.instagram.com/ja-jp/community/parents>)

【各事業者の取り組みの例（年齢等の利用者属性に応じた利用環境整備②）】

LINE株式会社

- 「インターネット上でのコミュニケーション」と「対面のコミュニケーション」の違いを子どもたちに学んでもらうためのオリジナル教材を開発するとともに、全国の学校や自治体からの申し込みを受け付けて LINE が講師を派遣するワークショップ授業・講演活動等を 2012年より全国で開始し、これまでに累計で約 10,000 回以上実施。
- 情報モラル教育講師派遣 (<https://line-mirai.org/ja/proposal/>)
- 楽しいコミュニケーションを考えよう！「基本編」「悪口編」「写真編」「使いすぎ編」 (<https://linecorp.com/ja/csr/newslist/ja/2015/47>)
- 楽しいコミュニケーションを考えよう！「リスクの見積編」 (<https://linecorp.com/ja/csr/newslist/ja/2016/75>)
- 楽しいコミュニケーションを考えよう！「マンガ編」 (<https://linecorp.com/ja/csr/newslist/ja/2015/49>)
- 楽しいコミュニケーションを考えよう！「家庭での対話編」 (<https://linecorp.com/ja/csr/newslist/ja/2018/157>)
- SNSノート (<https://linecorp.com/ja/csr/newslist/ja/2018/190>)

■ Twitter Japan株式会社

- Twitterをより安心して楽しむ方法 (<https://help.twitter.com/ja/a-safer-twitter>)
- セーフターインターネットデー2021 絵文字キャンペーン (<https://twitter.com/TwitterGovJP/status/1358935381073252352>)

■ 株式会社ミクシィ：

- ネット・SNS啓発チャンネルをYoutubeに開設。「YouTube | mixi GROUP ネット安心・安全チャンネル」 (<https://www.youtube.com/watch?v=XoET3S-t9mU&t=44s>)

【各事業者の取り組みの例（年齢等の利用者属性に応じた利用環境整備③）】

■ グリー株式会社

- サービス内で啓発コンテンツを設置し、注意喚起を行っている。
(GREE 啓発ページ) <http://gree.jp/?mode=doc&act=misc&page=sns>
- 無料出張講演「正しく怖がるインターネット～事例に学ぶ情報モラル～」(<https://corp.gree.net/jp/ja/csr/internet-society/seminar/>)
- 情報モラル教材「事例に学ぶ情報モラル」(<https://corp.gree.net/jp/ja/csr/internet-society/teaching-materials/>)
- 情報モラル動画「ティルと学ぶ正しく怖がるインターネット」(<https://corp.gree.net/jp/ja/csr/internet-society/moral-video/>)

■ 株式会社ディー・エヌ・エー

- 学校等の教育機関や消費生活センター等公的機関からの要望に応じて、出張授業や研修会を実施。
- 企業訪問学習：企業訪問時に情報モラル講義を実施。(<https://csr.dena.com/learning/about/>)
- 情報モラルリーフレット「ハッカドールが教えるインターネットの安心・安全な使い方」(<https://csr.dena.com/internet-usage/>)

■ 株式会社ナナムエ工：

- チャット上での注意：アプリ上の常設し、Yay!のチャット上での注意について解説。(<https://help.yay.space/help/chat/caution/>)
- Yay!を安全に使うために (<https://nanameue.jp/files/yay-security-202001.pdf>)
- Yay!の基本ルール (<https://help.yay.space/help/simple-rules/>)

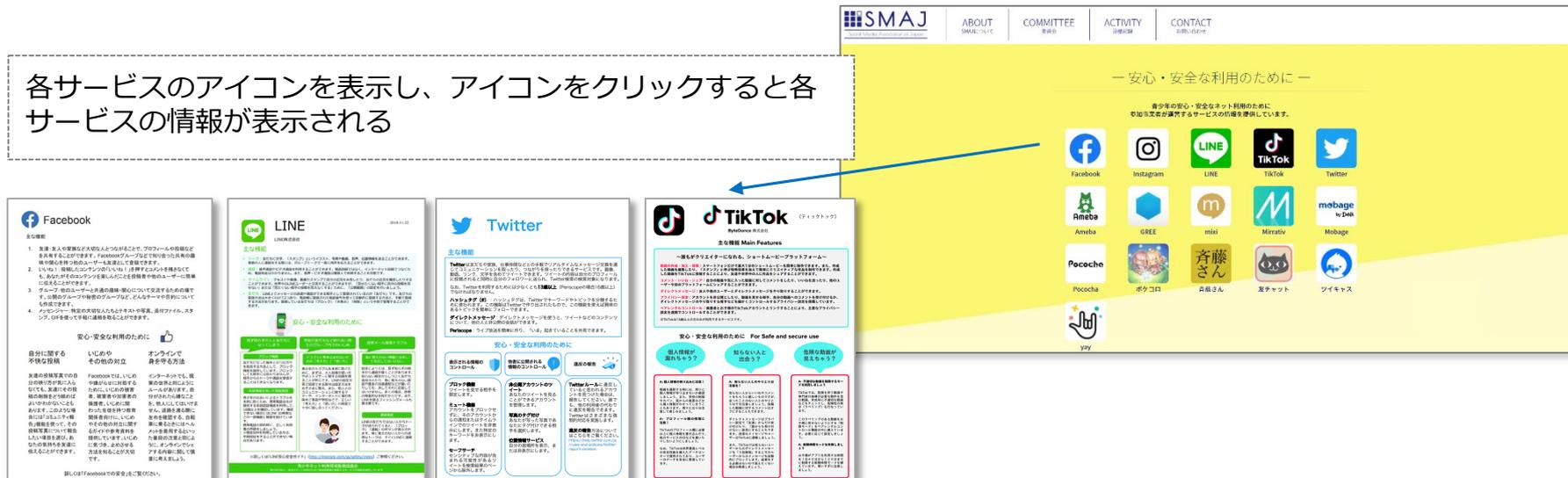
■ UUUM株式会社：

- UUUM誹謗中傷および攻撃的投稿対策専門チーム発足と活動 (<https://www.uuum.co.jp/2020/08/31/53964>)

サービスの安心・安全な利用のための情報提供

- 主に保護者向けに、SMAJのウェブサイト (<https://smaj.or.jp/>) にて、青少年を中心とした利用者の安心・安全なサービス利用のための情報を提供しています。

各サービスのアイコンを表示し、アイコンをクリックすると各サービスの情報が表示される



【今後の予定】

- より活用し易い形式（スマートフォンで閲覧しやすいWebページ等）への改善を予定しています。
- 今後、各事業社が作成・提供している啓発コンテンツ等も紹介する予定です。
- 安心ネットづくり促進協議会と連携し、サービスの情報を活用した保護者の関与を促進する普及・啓発を進めます。（安心ネットづくり促進協議会とSMAJで共同の会議体を構成するなど、関係団体が連携した普及啓発の実施を検討しています。）